

E-16 中性洗剤の下水動物に及ぼす影響

聖母女学院短大 ○鍛治美知子
沢田寿々太郎

1. 日常家庭で使用されている膨大な量の中性洗剤は、主として下水を通じて廃棄されている。このような使用後の稀薄な洗剤は廃棄の過程で常に下水中に棲息する動物に接触しており、それらの動物に何らかの影響を与えているであろうと考える。そこでこの点を明らかにするため、下水中の動物として糸みみず (*Limnodrilus*) を選んで家庭用中性洗剤中に浸漬し、その有害性を観察したので報告する。

2. 数回水洗した糸みみずを径 9cm のシャーレに 10 匹宛採取し、稀釈した中性洗剤 20ml を加え、半数の糸みみずが死亡する時間を測定した。

3. 中性洗剤の 1000 倍稀釈液に糸みみずを浸した場合、2 ~ 4 分間でその 50% が死亡した。この事実は供試した市販家庭用中性洗剤のほとんどについて共通の現象であった。また、純粹のラウリルベンゼンスルホン酸ソーダの稀釈液でも同様の結果が得られた。さらに、中性洗剤中の糸みみずは死後、すみやかに溶解してしまうが、この現象は自己消化の速度よりもはやかった。